

2022 年度 川内原子力防災訓練（10/25）における課題対応等について（案）

1. はじめに

2022 年 10 月 25 日に実施した川内原子力防災訓練時において、振り返り等で抽出された意見を踏まえ、以下の改善事項を抽出した。

抽出された課題に対し、それぞれ区分を設定し、改善に向けた取組みを検討する。

【抽出された内容】

No	抽出された課題 等	区分	改善事項 等
1	ERCプラント班よりリエゾンが受けた質問に対して、本店即応センターの発話者より回答する場面があり、重要度の高い情報の提供が遅れるおそれがあった。	情報共有	■情報伝達の運用見直し
2	発電所対策本部内で情報が輻輳し、報告事項が同時期に重なる場合あり、報告すべき事項をタイムリーに報告できていない場面があった。	情報共有	■発電所対策本部内の発話ポイントを整理
—	その他主な改善内容	その他	①EAL報告の優先順位の整理 ②COPの発行時間確認の徹底

抽出された課題等に対する更なる改善事項の対策については、2023 年 2 月 28 日に予定している玄海原子力防災訓練時において実施状況を確認する。なお、今回の対策について、社内訓練までに習熟訓練等を実施し、対応者の対応能力向上を図る。

2. 検討内容

No1：原子力規制庁ERC派遣者（リエゾン）対応に係る運用の見直し

（課題）

- ・ERCプラント班よりリエゾンが受けた重要度の低い質問に対して、本店即応センターの発話者よりERCへTV会議で回答する場面があり、プラント状況の変化等重要度の高い情報の提供が遅れるおそれがあった。

（原因・要因）

- ・当社の情報伝達の運用では、リエゾン経由の質問を受けた本店即応センターのリエゾン連絡担当者は同センター内の質問対応者へ回答作成を依頼し、質問対応者は作成した回答をすべて発話者へ提供し、TV会議で回答するものとしていた。

（対策）

- ・ERCプラント班よりリエゾン経由で頂いた質問や重要度の低い情報は、発話者を經由せずに回答するように情報伝達の運用を見直し、関係者へ周知する。また、TV会議で受けた質問とリエゾン経由で頂いた質問を区別するために、質問回答シートのフォーマットを見直す。
→TV会議で受けた質問とリエゾン経由で頂いた質問を区別して対応することで、発話者はより重要な情報を優先的にERCへ提供できる。

No2：発電所対策本部における更なる簡潔・明瞭な報告の実施

（課題）

- ・対策本部内で情報が輻輳し、報告事項が同時期に重なる場合に一つひとつの報告に時間がかかると、報告すべき事項がタイムリーに報告されず、対応が遅れる可能性がある。

（原因・要因）

- ・対策本部において、事故収束に向けた多様な戦略の検討及び対策の実施に関する協議がなされている状況で、報告事項が同時期に重なり、報告する者の簡潔・明瞭な報告が行われなかったため、他の報告すべき事項がタイムリーに報告できていない場面があった。

（対策）

- ・対策本部内での確実かつタイムリーな情報共有を行うため、対策本部内での発話が簡潔・明瞭になるよう発話ポイントを整理し、勉強会などで周知する。また、訓練などを通じ優先順位を意識した簡潔・明瞭でタイムリーな報告が行えるよう習熟を図る。
→報告について優先順位を意識した簡潔かつ明瞭な報告を行うことで報告時間の短縮が図られ、同時期に重複した他の情報もタイムリーに対策本部内で情報共有ができる。

区分：「その他」主な改善内容等

No	改善内容 等	対策 等	備 考
①	<p>EAL報告の優先順位の整理</p> <p>10条事象、15条事象発生直後等、プラント状況の変化が大きい場面では、EALの報告（初回のSE、GEを除く）よりもプラント状況の報告や進展予測等を優先して報告する。</p>	<p>■本店即応センター対応要領にEAL報告の優先順位に関する説明を追記し、関係者へ周知する。</p>	<p>NRA 助言 他電力評価</p>
②	<p>COPの発行時間確認の徹底</p> <p>COPを用いてプラント状況や戦略の説明をERCへ行う際に、本店即応センターとERCとでCOPのバージョン（発行時間）に相違がある場面が見られたため、認識の齟齬が生じるおそれがあった。</p> <p>COPの発行時間の確認を徹底し、ERCと共通認識を持つことで認識の齟齬が生じないようにする。</p>	<p>■本店即応センター対応要領にCOPにて説明する際にCOPの発行時間の確認を行うように追記し、関係者へ周知する。</p>	<p>社内振り返り NRA 助言 他電力評価</p>

以 上